

平成31年3月12日(火)

2011から8年の時が過ぎました。その2

2011後、あの時の気持ちを私たちは忘れてはいけないと思いながら、具体的にどのようなにつなげていけばよいのかを悩んでいます。

いわきの海岸線は大きく変わりました。岩間の海岸線は、火力発電所に付随する大きなプロジェクトが進行し、植田から小浜方面への道路も直線になり、ずいぶんとかさ上げされた場所に住宅も建つようになりました。



小名浜の港付近は、イオンモールやマリナブリッジができて、風景が大きく変わりました。



豊間地区や久之浜地区も昔の面影はありません。そのことを踏まえて、今回1年生の校外学習を計画しましたが、泣く子とインフルには勝てず中止となってしまいました。しかし、今後も、毎年この行事は続けていきたいと思えます。

翻って、いわきの魅力は何かを考えたときに、この暖かい気候と人情味豊かな人々、海産物や農産物など、このようなファクトをもっと結び付けて大きな魅力に満ち溢れる場所にするため、「若い力」が大きな意味を持つと考えます。

有機的に若者と若者を結びつける場所とつながりが必要です。

震災を契機に、もう一度と立ち上がったいわきの人々の経緯を子供たちに繋げなければなりません。

そしてただ繋げるだけでなく、未来への創造となることが大きなポイントです。

この課題については、地域にかかわる学校全体の課題として教職員と生徒全員が共有していくことを原点として、世代を超えて繋げなければならないものと理解します。

課題解決のためのアプローチを続けていくこと。まずは、このことから始めていくつもりです。

力を結集しましょう。みなさん、是非にきつといわきに帰ってきてください。この磐城高校を皆の力でつなげていきましょう。心から願います。

卒業生の皆さん、在校生の皆さん、必ず磐城高校をつなげていきましょう。次の時代はあなたたちの出番ですよ。「我ら」の心は、永遠なのです。

